



日韓合同授業研究会会報

第 104 号

2016 年 6 月 22 日発行

日韓合同授業研究会 学習会 (2016 年 5 月 21 日 アジア文化会館)

「関東大震災における朝鮮人虐殺

～船橋・習志野・八千代から現在に問いかける」

専修大学教員 田中

今夏、日韓合同授業研究会交流会 (7 月 29 日～8 月 1 日) でのフィールドワークは関東大震災時朝鮮人虐殺跡地に行く。そのための学習会を企画し、専修大学教員の田中さんにお話いただいた。

田中さんは、朝鮮近代史をずっと勉強してきたが、専修大学文学部歴史学科の学生、大学院生などとの千葉県西北地域に起こった朝鮮人虐殺を調査、フィールドワークの中から研究を重ねてきた。市民運動にも積極的に関わっている。

こちらからは、全体の震災の時の虐殺事件の流れ、千葉で何が起こったかということ、それを現在と関わらせて論じるという 3 点をお願いした。

レジュメ目次に従って文字起こししたものをまとめた。

1. 関東大震災時の虐殺事件の推移

戒厳令が生んだ虐殺

まず、関東大震災でなぜ朝鮮人虐殺が起こったかということについて、よく聞かれるのが虐殺の背景、なぜそんなことをしたのだろうかということだろうと思います。

背景という問題でいえば、そもそも植民地支配を前提としなければ、こういう事件は起こらなかったわけです。民族運動、労働運動の高まりですね。3・1 独立運動との関連性というものを問題にして、そして関東大震災時の虐殺というものが 3・1 独立運動を弾圧した、その記憶と結びついているのだと指摘する人もいらっしゃいます。直接的には朝鮮人への敵視などがあって、それが弾圧を生むということを指摘される方、それぞれ研究者が

目次

学習会記録

関東大震災と朝鮮人虐殺・・・1

第 22 回交流会潮来大会実施要項・・・13

今と未来を繋ぐ、日韓の高校生たち・15

短信・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

いらっしやるわけですけれども。

もちろんそのこともあるのですけれども、一方で直接どういう施策が関東大震災の時にあって、政府の対応がいかにかに虐殺を生んだのか、直接的な問題を考えることも大事だろうと思っています。

そこで、そういうようなことを重点においてお話ししたいと思います。関東大震災が 1923 年 9 月 1 日、11 時 58 分に起こるわけですけれども、その直後、1 時 10 分にはすでに独自の判断で軍隊が動き始める。東京衛戍、これは東京を守っている軍隊ですが、近衛師団と第一師団が東京にはおりますんで、これが中心になって編成されているところですが、その臨時の司令官、石光真臣が警備を指令する。まず、当時は東京府ですが、北と南に分けて軍隊を配置するという計画を立てます。14 時ころには警察の方から軍隊を出動させてほしいという要望も入り始めます。

その中心になっていた赤池濃警視總監が、戒厳を行うと建言するのが 14 時ころと言われていて、最終的に戒厳令の一部を施行するのが、当時の内務大臣、日本の行政ですとか、治安ですとか、内政に関わることを管轄する官庁が内務省というものですけれども、この内務省の水野錬太郎の回想によれば 2 日の朝にそういう決断をしたというふうに言っていますけれども、姜徳相という研究者は、それはおかしいと。1 日の夜には方針としてそういうものを決定していなければならないだろうと、それはなぜかという、1 日の夜から出動する軍隊が明確に治安対策というものを目的にし「不逞（ふてい）鮮人」の討伐に動いているので、9 月 1 日の晩であらう、というふうに言っている。

しかし正式には 9 月 2 日に戒厳令が発布されたことになっています。時間については資料によってまちまちなのですが、まずは、東京市と隣接部、3 日になるとさらに広がって東京府と神奈川県、4 日になって埼玉県と千葉県、こういうことで拡大してまいります。結論的に申しますと、この戒厳令というのが朝鮮人虐殺と大いに関わっているというふうに考えるべきだろうと思っています。それはまさにこの戒厳令が施行されていくその中で虐殺事件が広がっていくからです。実態としてもそうなっている。

戒厳令下での軍隊の動き

軍隊の動きの中では、虐殺と関連して登場するのが 2 つの場所から出てくる軍隊です。2 ページ目の表を見ていただきたいのですが、これは政府の部内で作った資料、その意味では公的な文書のなかで作成されたものですから、軍隊が「朝鮮人を殺してしまえ」ということは、政府の中で裏付けがあるということを確認しておきたいと思えます。

その上で、一体どういう軍隊がそれに関わったかというところを見ていきます。いろいろあるのですけれど、目立つのは、騎兵ですね。騎十三、十四、十五、十六連隊というのが、千葉県の習志野に駐屯している軍隊です。もうひとつは野重一というのが目立ちます。第一師団の野重砲第一連隊の略称でございます。どこにいるかという、市川の北の国府台にいます。

これが最初に出動していく軍隊なのですね。これが東京の下町ですとか、横浜の方にも出動して、それが虐殺を引き起こすという流れになっています。

このうち今日の話は千葉県のことと関わってということですので、千葉県の習志野の軍隊がいつ出て行ったかという記録を見ていきますと、正午に、習志野第一師団騎兵第 15 連隊が「暴動鮮人鎮圧」のため出動と書いてあります。これは実はマル秘の資料ではなくて、東京市震災録という一般の人の目にも触れるような形で書かれている大きな本なのですけれども、その中に「鎮圧」なんていう言葉が出てくるわけです。こういう軍隊の出動というものが、千葉の西北地域から出て来ているということをまず指摘しておきたいと思えます。

流言の拡大とその出どころ

9月1日3時ころですが、一番初めの流言が、警視庁の大正大震災火災史という資料ですが、そこに出てきます。そのほかいろいろな流言が記録とか証言に乗っかって出てまいります。山田昭次さんによれば3つのパターンがあると。一つは全国的に流す。これは内務省から出したものが有名です。二番目、地方行政組織を通じて伝わっていくものがある。三番目、警官なんかに関わるものがある。町の中の末端で流言が流されて行く場合に、そこに官憲が関わるといものが出てくる。ということ指摘しているのです。その他にも、避難民が流したり、あとよく言われるのが新聞ですね。新聞が流言を流すということをやっているわけです。

新聞の影響も大きいとは思いますが、やはり行政の組織を通じて流すということが、流言の拡大に大きく関わっているだろうというふうに考えています。逆に言うと、本来はそういった組織が流言を止めなきゃいけない。正しい情報を流すということをしなくてはならないのだけれども、率先してそれをやっているということです。

具体的に、どういうものが出てくるかということなのですが、一つは地方の役所を通じてということなのですが、9月2日の夕方、埼玉県内務部長が、各町村に警戒を指示したということです。埼玉県内務部の課長が、内務省から打ち合わせを終えて帰ってきて、そして埼玉県庁で打ち合わせをして、そこから各町村に警戒を指示していくという流れでした。レジュメ7頁注の2なのですが「不逞（ふてい）鮮人暴動に関する件」ということで、埼玉県庁から各町村の役場に指令を出して、その地域地域で、まあ、「自警組織を作れ」「組織せよ」というわけです。「一朝有事の場合には、」と書いてありますが、「何か事があつたら適当に処分してよろしい」というのは殺してよろしいということですね。そういうお墨付きを与えている。これは12月の帝国議会でも大変大きく問題になりました。そういった通達であります。

それから9月3日の朝には、内務省警保局長後藤文夫から出されたものとして、各地方長官、各県の知事にあてて、呉の鎮守府を通じて出したもので「東京附近ノ震災ヲ利用シ、朝鮮人ハ各地ニ放火シ不逞（ふせん）ノ目的ヲ遂行セントシ…」云々ところ書いてあって「東京府下ニハ、一部戒厳令ヲ施行シタルガ故ニ、各地ニ於テ充分周密ナル視察ヲ加ヘ、鮮人ノ行動ニ対シテハ厳密ナル取締ヲ加ヘラレタシ」とあり、「一部戒厳令ヲ施行シタルガ故」と書いてあることからわかるように、戒厳令の目的はここでいう、彼らが称する「不逞鮮人を取り締まる」というところにその目的の大きな一端があったのは、疑いえないだろうと思うのです。ということで、これを全国に流しておりますので、各地域の新聞なんか最終的にこの情報が流れて行くなることが起こります。つまり、日本の全国で、例えば函館の新聞が流言を流す。そんなことをやっていく。これは避難民ではできることではありません。

というような流言を一体どこが流したのかということですが、9月3日の6時、これは海軍東京無線電信所船橋送信所からということを確認して、船橋送信所がどういうことをしたかという、全国に流言を広げる手助けをしたに止まらず、送信所付近の住民たちに武器を渡して、自警団を組織させるということも行っています。「朝鮮人を殺してもさしつかえない」というふうな命令を発したということです。

さらに船橋だけではなく、みなさんがいらっしゃる八千代市の高津観音寺の近くの大和田の地域の役場では、朝鮮



船橋送信所跡

人を警戒するよう指令が出ています。これも9月3日の段階ですね。流言が広がって、そして自警団なんかが組織されているということです。以上のように流言についても官憲が関わっている。千葉でも以上述べたような出来事が起こっているわけです。

虐殺の拡大

次に虐殺の拡大ということについてですが、まずその担い手にどういう人たちが考えられるかといえば、一般的には自警団と一括りにされる民衆がおります。他方では警官とか軍隊、政府機関です。単独で行っている場合もありますし、三位一体のような形で行う場合もでてくるわけですから。

東京、おそらくは横浜のことはどうもよくわからないことが多いのですが、おそらく東京、横浜で一番早く虐殺が始まったであろうということが考えられます。

軍隊の問題でいえば、2頁の表に日付順にまとめておいたものをご覧くださいと、東京の地名があちこち出てまいります。その中でも大きいものとして、3日午後3時ころ、大島町8丁目付近で200名、永代橋でも3日、3日それから4日あたりに大規模な虐殺が集中するという傾向があるだろうと思うのです。

順番としては、東京、神奈川、地震の災害が非常に大きかったところ、その周辺地域、別な言い方をすれば軍隊がまず出動して行くような地域で虐殺がたくさん起こって、それが地方に広がっていく。東京の周辺地域は早い段階ですが、千葉とか、埼玉では9月4日前後から広がっていくというような傾向がみられます。

9月4日の段階というのは、ほとんどが自警団事件というふうに称されるものです。現在わかっているのはそういうところですね。年表風にまとめてあります。9月3日、大島町、23時船橋で朝鮮人が一人殺されてしまうのですが、9月4日には船橋警察署前、九日市、若宮などで朝鮮人虐殺。船橋駅の北側の九日市、避病院前と言う場合もあるのですが、ここで起こったものが一番大きなもので、一説には38人とか53人とも言われています。

9月5日には群馬県の藤岡、寄居で朝鮮人虐殺となっていくますけれども、これは自警団事件です。藤岡の場合は警察署を襲っています。埼玉県本庄も警察署を襲う。自警団を組織した後に、組織化された民衆が、次第に統制を抑えきれなくなって警察署までを襲うというような事件に発展していくというような形になっていく。

具体的なことをもう少し申し上げますと、本庄では、朝鮮人を危険だからと警察署に収容したものを襲う。藤岡もそうです。一方では軍隊、警察が朝鮮人を殺してしまうというような事件を起こして、一方では一応は護る側に立つというような、地域により大分差があるのです。そういうことも、この事件の特徴であろうと考えています。

9月6日には千葉県の今の野田市あたりで、日本人の行商が殺されてしまうような事件も起こったりしますが、この時期までには虐殺は終わると一般的には言われているわけです。

船橋では「朝鮮人を殺害するな」というビラがまかれたりしました。

2. 千葉県船橋・習志野周辺での朝鮮人虐殺とその後

払い下げられた朝鮮人

ところが、今見たような流れから、外れることが千葉で9月7日から9日に起きます。9月7日に習志野周辺の村々で朝鮮人を殺してしまうという事件が起こります。これはなぜ起こったかという、9月5日に、朝鮮人が迫害されるというので、収容所を作って保護をするということで、習志野の騎兵連隊の本拠地の脇にある軍隊の施設、建物に収容所というものを作ります。こ

ここに、朝鮮人と中国人を収容したという記録があるのですね。ところが、保護ということばとは裏腹に、保護した朝鮮人をどうも憲兵などが調査をして、あるいは収容所の中で何か不穏だと感じられた者に対して、その人間を引っ張り出して来て殺してしまう。それから、近くの村に、なぜそうしたのかというのは、おそらく連帯責任を負わせたのだという分析をしているのが、千葉県調査をした人たちですが、付近の村に下げ渡して、処分させる、殺させるというようなことまでやっている。それが9月7日から9日の段階に起こった。これは確認されているものだけです。他にもあった可能性があります。

それ以外にも、9月12日に王希天という中国人労働者の扶助組織の会長ですが、この人が狙われて殺されてしまう。9月16日、大杉栄が殺されるというようなことまで含めると、この関東大震災に起こった出来事というのは非常に長い期間であった。その中でこれだけの虐殺事件が起こっているということがわかる。

全体の流れというのはそういうことでして、いくつか申し上げましたけれども、千葉県の船橋とか、それから習志野、八千代で起こった出来事というのは、今お話した中に含まれているわけですね。



阪神・淡路大震災で全壊した神戸市内の家屋から発見された絵巻 朝鮮新報 970207 日本語版

船橋での虐殺

船橋と習志野周辺というものは、二つに分けて論じる必要があります。そこで、まず9月3日の夜から始まった船橋での虐殺、次に習志野収容所周辺での虐殺という順番でお話したいと思えます。

それに当たって地図をご覧くださいと思いますが、まず、船橋ですけれども、無線塔というのがあります。これが例の全国に流した流言の発信源です。この海軍の送信所は生き残るのですね。東京市の中の電信施設が地震でかなりダメージを受ける、この地域は地震の被害が少なく、無線塔も倒れなかったということから、ここがいろんな電報の発信源になっていくわけです。今現在の中山競馬場の近くだと考えていただければいいと思います。そして、地図には×印がいくつかあります。船橋の北側で避病院と小さく書かれています、九日市ですが、ここで大きな事件が起こります。南側の船橋警察署などでも起こります。ここで朝鮮人が53人亡くなったという

ので、いったいどうしてこれだけの人たちが船橋で亡くなっているのかということが、当然疑問になるのだらうと思います。それは東京から避難してきた人たちが捕まったという例も中には含まれているとは思いますが、大多数は北総鉄道というところの建設工事、この労働者として当時、北総鉄道、今の東武野田線の労働者として働いていた朝鮮人たちがその飯場にいたところ、まるごと捕まって殺されてしまうということにつながります。一部の人たちは助かるのですが、いくつかの飯場の中で、丸山というところがありますが、ここには丸がしてありますが、この丸山には朝鮮人が2人いたのですが助かっているのです。村の人たちが周りの自警団から護るのですね。

船橋では、こういうエピソードが出てきます。この証言をした人は当時船橋の巡査をしていた渡辺さんですが、この人が、震災が起こって、朝鮮人たちが数珠つなぎになって集団で送られてくるというような話を聞くのですね。その朝鮮人を、船橋警察署長からお前行って来いといわれ、もらい受けに行くのですね。もらい受けに行く理由というのは、船橋の町の中に入ると、自警団が待ち構えていて、これを殺してしまうおそれが十分にあったためでした。ところが、これを読んでいただくとおわかる通りですね、朝鮮人たちを連れてきたのは、その朝鮮人たちがいた村の自警団なのですが、それに騎兵がついてくるわけです。その騎兵に朝鮮人を渡してほしいと言ったところ「船橋の自警団に引き渡せと命令を受けてきたから、駄目だ」と聞き入れてくれなかったと書いてあります。それで応援をたのみに警察署に戻るのですが、応援はできないからもう一回行って様子を見に行つてこいと言われて、戻って行ったときに虐殺が起こったというような場面がここに書いてあります。そういうことで殺されてしまうという話がでてきます。

明らかになった習志野周辺での虐殺

もうひとつは、習志野収容所の周辺で起こった事件です。レジュメ4頁の下の地図がそのあたりの地図です。この地図の、13、14、15、16と書いてあるのが、悪名高い騎兵連隊です。その右側にある高津廠舎、軍隊の建物ですが、その一面に収容所を作るといふわけです。そのななめ右上の方に、高津というところがあってその周辺に ABCD とか×印があるのですが、ここが、村の人たちが収容所から朝鮮人を下げ渡されて殺してしまう、そういった場所になっています。収容所がなぜこんなことをしたのか。あるいは、他にそういうことをした収容施設はあったのか。朝鮮人の収容所はこのほかにもあるのです。東京の中にもあるのです。横浜にもありますけれども。そういったところでは、そのようなことがあった、収容所の中で殺してしまったという例があったという資料は見つかっていません。あったかもしれないし、なかったかもしれない、わからないですね。唯一わかっているのは千葉県の場合で、それはいろんなきっかけがあって、わかったんですけども、一つには関係者、軍隊関係者の証言、それからその朝鮮人を下げ渡された村で殺された、その場面を目撃している人の証言がきっかけでした。それからもう一つは、当時そのことを記録した文書、具体的には村の日記が見つかりました。それが証拠になっています。さらに、その事件が起こったということは、その村の場所で、亡くなった方たちの遺骨が見つかったという事実から明らかになったのです。

現在ですが、4頁 ABCD となっているところですが、そこにそれぞれ碑が建っています。いちばん先に立ったのが A として、これは「無縁仏之墓」としか書かれていないので、いったい誰だかわからないようになっているわけですね。B の「至心供養塔」には異国人ということばがその裏に書かれているのですが、でも朝鮮人とは書かれていません。それから C の「無縁供養塔」にも朝鮮人とは書いていません。D は3つあるのですが、1985年の「普化鐘楼」というのは韓国から贈られた。この事実を知った韓国の劇作家の沈雨晟さんが中心になって募金を集めてこの地に建てた鐘楼です。二番目の1990年「関東大震災韓国人犠牲者慰霊詩塔」というのは、韓国の仏教会が建てた。三番目の1999年「関東大震災朝鮮人犠牲者慰霊の碑」は、朝鮮人虐殺を調査

してきた人たちと住民と高津観音寺の3者が共同で建てた碑です。

習志野収容所周辺で起こった出来事ということに戻りますけれども、まず始めに、騎兵連隊の会計を担当していた相沢さんが証言をした。「軍隊の中でも起こっていた」二つある証言のうちの一つです。

村で殺させた例というのですけれども、その次の5頁に、高津の村の住人の日記ですが、1970年代の終わりに、調査をしている人たちに日記を提供した。「1日正午に地震が起こった。家に帰ったが変わりなし。昼飯を食ってまた帰った。…3日夜になって役場から通知、朝鮮人に警戒せよ。」不眠不休の自警団、防衛が始まるけれど、誰も攻めてこない。「7日午後4時ころバラックから鮮人をくれるから取りに来いと知らせがあった。急に集合させ受取に行ってもらった。夜中に鮮人15人もらい受け、各区に配当し3人引き受け、お寺の庭に置き番をしておいた。」という記述が出てきます。まず初めに15人下げ渡される。それを殺してしまうのと同様にして、都合18人引き受けて、高津というところでは6人を殺してしまう。萱田の下のところでは3人、萱田の上で1名と3名という二つの説がありますが、殺してしまう。大和田新田で3人、朝鮮人の被害者が出てくるのです。数を数えると合わない。18人中、日記で明らかになった数を引き算すると余っちゃう。日記や証言のほかに事件が起こっていたのではないかと考えられ、それはほぼ間違いないと思われるが、今となってはわからない。

追悼碑、墓はあるが遺骨があるのは、Bに3人の方の遺骨があります。Dのところにも6人の方の遺骨が日記の通り出てきました。そのほかはどこに遺骨があるのかは今でもわかりません。そのことを明らかにしていったのが、千葉県追悼調査実行委員会の方々に、1984年「いわれなく殺された人びと」という本を出しています。船橋と習志野のそれぞれの高校と中学の教員たちが別々にやっていた調査を一緒にやるようになって、1978年に実行委員会を作って、現在まで調査を続けている。習志野の出来事の話が多かったのですが、習志野の調査をしたのは大竹米子さんです。中学校の教師であった時に、郷土史クラブを作っていたのです。学生たちと故郷の調査を始めて、その過程で朝鮮人虐殺の証言を聞いて調査を始めた。6人の遺骨が見つかったのですが、それまで殺された場所を探していたが、その場所がなかなか見つからない。なんで見つからないかという、誰も教えてくれないからです。ところがその場所は、1963年、震災から40年経つあたりから、地域の古老がひっそりと2人だけで塔婆を建ててきた。朝鮮人、韓国人、第三国人とかいろいろの書き方をされていますが、塔婆を建てた2人の古老、その字を書いた高津観音寺の住職に会っているのですけれども、最初は教えてくれない。ふとしたことからその場所を発見する。地域の住民を説得しながら一緒に亡くなった朝鮮人を弔うことを目指した。

1983年、実行委員会委員会と高津区、住民組織との共同慰霊祭を開催することになりました。しかし遺骨を改葬するのは1998年。15年かかった。時間がかかった。

3. おわりに

わからないままに

千葉県における調査・追悼というものには時間がかかった。それはなぜかという、地域の中ではタブーになっているからですね。98年に高津のなぎの原で6体の遺体を発掘するに当たっては、マスコミを一切いれない、記録をしない、写真もとらないという約束をして、やっと遺骨を改葬することに地域の人々が同意するということになったわけです。だからその場面を語るができる方は二人しか知りません。

1999年の朝鮮人犠牲者の碑の裏を、高津観音寺にいらしたときに見ていただきたい。本来は碑というのはその由緒がどこかに書いてなければならない。なんでこの碑が建ったのか、書いてな

いのです。文案を作って、何回か実行委員会と住民で議論するのですが、まとまらなかった。住民が、何が起こったか具体的に碑に書くことを拒否した。但し、裏には実行委員会の代表者、高津観音寺の住職の名前、住民の代表者の名前を刻んだ、そこまで持って行くのに大変苦労した。

もっとわからないことがある。根本的なことが分からない。何がわかっていないのかというと、6人はどういう人だったか、名前がわからない。これが朝鮮人虐殺の問題の根っこの部分だと思います。

誰が亡くなったのか、その名前、あるいは遺族はどこにいて、その遺族をお招きして一緒に祈るとかできないという問題。遺族が判明できそうな場所もあるが、確実ではなく、ほとんどわからない。それが一番大きい問題だと思います。

今に生きる戒厳令

二番目は、石原慎太郎の発言ですが、こういった事件のそもそもの原因は、私は戒厳令だと思っています。戒厳令というのは、「政府がこんな事態つまり震災などが起こったら、住民がなんか暴動を起こすのではないか」、そういう予断をする。当時であれば、「社会主義者と朝鮮人、これが暴動を起こすのではないか」という予断をしたことから、こういう問題が起こっているというふうに考えられるわけです。それを教訓として学ばずに、今なお「同じような災害が起こったら、何をしでかすかわからない第三国人が」、こういう石原元都知事のような考え方というのは、今も一端が残っているような気がします。それは熊本の話ですが、要するにこれは憲法改正につなげようという話なんじゃないかと思いますが、緊急事態条項が必要だとか、非常に戒厳令と近い、と思うわけですね。こういうことを平気で言ってしまう。いかに関東大震災から学んでいないかということが分かる。

「災害が起こったら、犯罪が起こるのじゃないか。」「暴動が起こるのじゃないか。」なんていう見方は研究者では否定的な人が多いです。大規模な災害時には犯罪は減少傾向なのだと指摘しています。

戒厳令は恐ろしいものであるというようなことをきちんと踏まえられていないのではないかと。権力の発動、人権の抑圧は危険だということを考える必要がある。

排外主義と歪曲

排外主義的言動が高まっている状況がありますね。そのうちの 하나가、工藤美代子という人ですが「朝鮮人虐殺は正当防衛だ」と言っているわけです。なぜなら、朝鮮人はみんなテロリストだからというのですね。誰が具体的にテロリストだったかも、名前さえ一人として挙げられない。いい加減なことを言っておおっているのですね。修正主義は繰り返す。

阪神淡路震災のころからあった。犯罪者の特徴、東南アジア、浅黒い、アラブ、若者とターゲットを絞っていく。

教科書検定と教科書記述の問題ですが、数はわかっていないと書きなさい、あるいは政府が出した230名を書きなさい。6000人というのは朝鮮人留学生の調査で、230人という数は裁判になった数だけで軍隊の殺害は入っていない、過少に作られた数でそれを教科書に入れさせる。

なぜ被害者数が不明確なのか。調査妨害、調査は朝鮮人がやるべきことだったのか。政府がやるべきだったことを朝鮮人に押し付け、結果をいい加減と決めつける、この構造は何だろう。

誰が事件を引き起こしたかを不明確にして、水野錬太郎は自分たちが流言を流しながら「混乱」ということばを使う。高津の村の住民に殺させる。これを「混乱」とは言えない。

二つ補足

日弁連勧告書

この問題について日本弁護士連合会が、2003年に勧告書というものを出しているのですね。それは震災の時に自分のお父さんの知人をなくして、ご自身も朝鮮人が殺されてしまうという場面を見て、心に傷を負ったムンムソンさんの訴えに基づいて、人権救済の勧告を出しました。その中で非常に詳細な調査をして、事件の全貌を資料とともに出しました。小泉内閣の時です。この勧告書は無視されてしまったのですけれども、その勧告書は日本弁護士連合会のホームページで見ることができます。



都教委による歴史の書き換え

東京都教育委員会から出した「江戸から東京へ」のなかの震災関連の記述です。副読本という位置づけで都立高校に通う全員に配られ、指導をするように指導されています。そういうものです。

2012年版と13年版で、関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑の説明文が書き換えられています。この書き換えがひどいのです。東京都教育委員会が作ったとはいえ監修者がいるのです。高村直助という日本近代史の先生なのですけれども、その人に無断で書き換えをしてしまいました。東京都教育委員会の裁量の範囲内だと判断したと、後から言っていましたけれども。記述の改悪の例を今日持ってきました。

【質問】墨田で教員をしていました。1983年の荒川試掘の時子どもたちと見学をして、授業の組み立てをしたことがあるのですが、今改めて授業をするのが難しくなっていると思っています。当時の私の担任した子どもたちのおじいちゃん、おばあちゃんは虐殺の場面に出会っていますので話をいろいろ聞くことができ、子どもたちと一緒に聞き書きをしながら、関東大震災の朝鮮人虐殺がどういったことであつたかを学ぶことができたし、自分のおじいちゃんおばあちゃんたちが殺したのだなということが実感としてわかったのです。ですから日本人がいかにか朝鮮人差別をしていたかを具体的に自分の問題としてとらえることができたのですが、今とても難しいなあって思うのですね。今は虐殺を埋もれさせない取り組みをしなくてはならない。切実なことは現在も在日朝鮮人差別を初めさまざまな外国人差別がある。これを何とかしなくてはいけないという問題意識なのですが、一つは韓国の方たちがどう思ったのかということ、私たちが授業をもって東アジアの平和と人権を守るということをやっているのですが、先生は学生さんたちとこのことを学んで、どんなことを学生さんたちとやっといこうと考えていらっしゃるのかお聞きできると、私たちもこれからの参考になると思うのでお聞かせください。

【返答】いろんな意味で、最初にこの問題について学んだり、本を読んで感じていたのは、日本人がいかにかひどいことをしたかです。それはそうなのですが、それは裏を返していえば、朝鮮人は罪もなく殺された、かわいそうだ、とこういうわけですね。それも事実だと思います。それにとどまることなくと申しますか、論文を読んで思ったことなのですが、ひどいと言っている割には亡くなった朝鮮人の遺族調査をしようとか、そういう動きというものあまり見られなかった。墨田の会はやりましたよね。韓国に行っているのです。そういうことをどれだけやってき

たのだろうか。犠牲者であると言っているけれども、それを日本近代史の問題にしてしまっているところを感じたのですね。それが課題だろうと思っていたら、山田昭次さんが、朝鮮人がそのあとにどういうふうに同胞を追悼しているか調べたりなさっていて、ああいう問題意識っていうのは 2000 年になって初めて出てくる。そういう感覚の遅さというか、根本的に弱いところだったのではないのでしょうか。

昔に起こった出来事ですまされなく、私たちの問題だということをいかに言うかがポイントだと思っています。そこが悩んでいるところです。現在だって何か起こった時に、私たちは誰かを傷つける側にすぐさまなったり、傷つけられる側にも容易になったりしてしまう。それはその、阪神淡路の時も週刊紙にあるように、若者たちが窃盗団を作っているみたいな話を平気で書く。社会の中で弱い立場に立っている者がターゲットになってしまう。この人権感覚のなさを問題にしなければならない。関東大震災の朝鮮人虐殺を植民地支配と民族的な敵視というような問題としてとらえるのと同時に、普遍的な人権感覚から問うことを、合わせ考える必要があるこれを具体的に授業にどう生かすかは悩むところです。

【質問】 虐殺の源流は差別、朝鮮人差別、日本人は差別意識が強いがその原因はどこから、日清戦争のときはわかるが江華島事件は明治 7~8 年ですよ。征韓論、通信使の時は、秀吉の時は、朝鮮を敵視差別の理由、源流はどこからか気になっているのですけど。

【返答】 いくつか、そのお話に関わることを研究されている方がおられるのですけど、一つは、近世の国学の系統の中に朝鮮人差別に対する発想を、神国意識が見られると指摘する人もいます。朝鮮通信使はあれもなかなか複雑で、たとえば雨森芳洲は迎える側で尽力するわけですが、やってきた人たちと筆談しながら、いろんなことを学んでいく。通信使がやって来るといって、あの人たちはみな朱子学者ですから、日本の知識人たちが総出で一所懸命会おう、会おうとするのですが、それで学ぶということをやります。一方で新井白石の書いているものを読んでいくと、尊敬の念だけではないということを書いている。学ぶということと感情ということとは矛盾する。複雑なところがあるのかなあというふうにも思います。

ナショナリズムの問題をどうとらえるかですが、よくいわれるのが日清戦争ですね。なぜ日清戦争が朝鮮人差別、あるいは中国人に対する差別につながるかというと、兵士が実際に行って、旅順などで中国人をたくさん殺してしまうわけですね。それから、朝鮮半島を歩いて行って朝鮮人に出会う、自分と異質な人たちを分化、自分たちと違う着物を着て、違う生活をしている人を見る。自分たちは軍隊として征伐しに行っているわけですから、差別的な感情が出てくる。たとえば兵士などの日記などを調べて研究している人もいます。大濱徹也という人ですが。

ナショナリズムを一般化していく時期とそれから知識人の中で抱え込んでいく時期と分けて論ずるような傾向があるかなと思います。

【質問】 内務省の通達が 12 月の帝国議会で問題になったというのはどういうことですか。

【返答】 12 月 15、16、17 日に、帝国議会で、憲政会の永井柳太郎と、無所属田淵豊吉が質問に立って、永井の方が質問の中で埼玉の通牒を読み上げるのです。彼がどこから入手したのかはよく分からないのですけれども。同じ通牒を吉野作造が知っていて「圧迫と虐殺」という本を出そうとするのですが、発禁で出版できずに、今原稿が東京大学に残っています。そこにも同じ文面が出ていますので、ソースが同じか、そもそのソースを共有しているのかわかりませんが。

永井が質問の中で、「こういうことをやっているじゃないか」というわけですね。田淵も同じように「われわれはきちんと反省しなくてはならない」と言うのですけれども、首相が山本権兵衛で「今現在調査中である、その報告については他日を期したい」と言うのですね。それで、質問を

終わりにしちゃう。

水野錬太郎は9月2日まで内務大臣なので、それには関わっていると思いますが、埼玉県の内務部長の記録にその筋から来庁とありますが、この筋と言うのが内務省を指していると思われるのですが、各町村に伝えていくわけですが、各町村で文書になって残っている。埼玉県の事例では末端レベルまで伝わっていることが分かるわけです。自警団事件の裁判の時に被告たちが、これは俺たちが始めたことではない。俺たちは命令によってしたのだと。責任者を出せと言うのですね。そこまで問題にされて埼玉県の内務部長は高坂と言うのですが福島県の知事になって逃げちゃうのですが、埼玉県では明らかになっている。末端レベルじゃないかと思われるものは、神奈川県三浦郡でも似たような文書が発見されるのです。でも東京から神奈川の県庁にどういった内容がいったのか、そういう資料が出てこない。そういったことが神奈川県の郡庁の資料から出てきているので、おそらく同じことをやっているだろうと思われる。

議会では内務部長までいかない、調査中でシャットアウト、今にわたっても調査中です。

【質問】 朝鮮人を護った村の経過をお話ください。

【返答】 平形さんにご案内いただくと思うので詳しい話が聞けるかもしれません。

丸山にも朝鮮人の飯場があって、そこは労働者の監督者だったらしいです。ある期間こもって念仏などを唱える場所、おこもり堂が空いていたのでそこにいた。日本語ができて日本人名を名乗っていた。福田さんと名乗っていたという記録があります。隣の村から自警団が来て「お前のところにいるだろう、よこせ」と言われた。その時村の人たちが集まって「あの人たちが悪いことをしたはずがない」ので護らなくてはならないと、おこもり堂の前で対峙、護った。その後危険だからと、習志野の収容所に連れて行ったが、無事に故郷に帰ることができた。その前に丸山に行った。今では丸山の公民館です。

【質問】 虐殺の人数は何人ですか。6000人、273人といわれるが。

【返答】 よく虐殺は幻だとか、正当防衛だとか言っている人たちの議論はいろんな問題を抱えていて、当時の国勢調査みたいなものから、東京にはどれくらいいて、だからこんなに死ぬわけがない、というのですが、その調査で遺漏が多い。それを基にするということではできないと思います。そのうえで明らかにされている数字が地域の中ではありまして、埼玉県ですと230から280であろうという調査結果、証言を調査している人がいるのです。何と地域で亡くなった人をカウントしているのです。千葉では、大きなものがあって、いくつか事件が起こっていて、東京でも確定的な数字があります。神奈川が一番わからないのですが。現在の数として一番新しい研究者の数字としては、山田昭次さんは数千人という言い方をしているのですね。それ以上はわからない。273人は埼玉県だけで越える。6000人があてになるかならないか。わからない。姜徳相さんは近いのではないかとおっしゃっています。

【質問】 「江戸から東京へ」の知らない間の書き換え、虐殺が抜けている。問題にならなかったのか。

【返答】 書き換えが、1月17日か18日、朝日新聞にリークされてわかった。書き換え前のものは、「朝鮮人が虐殺された」主語が書いてない。主体、「誰が」が書かれていない。書き換え後のものは、「朝鮮人の尊い命が奪われました」虐殺がないだけではなく、何によって殺されたのかもわからない。虐殺の文言もないので人に殺されたのか地震によるのか火災によるのかもわからない。追悼碑の建設者の意図をないがしろにしている、いっそう不明確。

私は「関東大震災朝鮮人虐殺の国家責任を問う会」で事務局長をしているのですが、新聞のり

ーク後に、都庁に質問書を出して抗議の申し入れにも行ったのですね。当事者は出てこない。広報が出てきて門前払い。虐殺ということばが妥当かどうか判断できないからやめちゃう。判断できないならそのままにするじゃなくて判断できないからやめちゃう。虐殺は痛ましいとか、話がかみ合わない。監修者の名前があるにもかかわらず、監修者に告げずに変えていることが問題と考えている。2013年版は監修者の名前が消えている。検定にかからないだけにもっとたちが悪い。修正主義の教科書みたいな書き方になっている。

【質問】90年経って今のヘイトスピーチ、関連あるかないか。

【返答】あからさまなのはネットの影響が大きいと思いますが、そんな発想はずっとあったと思います。意識的にあるだけではなく、制度的に差別がある。この時期、戦後50年60年それに反発する動きがあって、しかも実体験として戦争の記憶をもつ人が亡くなっていく。記憶がどうなっていくかということと関係があると思います。制度差別として、チマチョゴリ切り裂き事件、その前に日立就職差別事件、指紋押捺拒否の崔善愛さんがいます。

殺せと拡声器でがなりたてるということをやる。大手をふるって出てきた背景は何か。「ヘイトスピーチ対策法」は罰則がない。対応としてはとても甘い。

根本無言に擲弾を以て負傷せしめ逃走した
拳銃 九月二日午後九時、吾儘町騎馬東成電車路、崔先
 ト、金世福
 中尉の在籍軍人銃に對し銃銃を發射して逃走した
狙撃 九月二日午後十一時、吾儘町伊藤藥工場林敷敷
 露後白雲六連發の銃銃及び實戰數十發を擲射して復讐し群衆中に數
 發を發射逃走した

九月二日午後十一時、南葛區小松川橋第一、第二橋中間路上氏
 名不詳軍人三十名位
 東條を以て通行時の陸軍中尉大塚兵七、中隊長代田兵中尉
 高橋克巳のオートバイを包圍し、擲弾を以て危害を加へんとしたが中
 隊はすきを以て脱出した

拔刀 九月二日午後十一時、小松川橋川原放水路上氏名不
 詳軍人一名
 擲弾を擲へ自衛隊銃を襲ひ擲弾銃の腕を傷ふ中、取押へられ逃走す

流言 九月二日午後十一時、吾儘町大字木一八一道路氏名不
 詳軍人一名
 海嘯来るを連呼して奔走し、民心を驚亂し取押へられたが逃走した

暴行 九月二日夜吾儘町氏名不詳軍人一名
 氏名不詳の海軍軍人に暴行を施へた
橋梁破壊 九月二日午後十一時、南葛區橋本江村下江戸
 川橋氏名不詳軍人一名
 下江戸川橋を破壊せんとし擲弾を持つて同橋柱を破壊す。擲弾中
 の餘兵に發見されて射殺された

飲料水へ毒 あべこべに飲まされて悶死
 九月三日午前九時、本所區葛飾区十字路附近日神寺王塚
 區藥師川八反を襲撃し本所區東石神町川原方面橋邊に毒が
 瓶一の飲料水瓶を投ずる毒川の水溜池附近を徘徊中群衆に捕は
 れたが、毒瓶を發射し強ひて毒汁をせしめられ悶死した

爆弾 九月二日午後八時、吾儘町放水路上氏名不詳
 ダイナマイト十五箇筒火線五本を所持し本所區陸奥上
 取押へられた

殺人 九月三日午前南葛區橋本江村下江戸川附近氏名不詳

政府の記事差し止め解除後 10月22日 東京時事新報

斉藤壽子記

日韓合同授業研究会 第22回交流会 潮来大会

「記憶されない歴史は繰り返される。

～関東大震災から～

菅官房長官は、4月14日の熊本震災を受け、翌15日には、憲法に「緊急事態条項」を設けることの必要性を語った。「朝鮮人死ね」という言葉が許される時代、熊本の震災ですぐにSNSに関東大震災におけるデマをまねた書き込みがされる時代の中で、子どもたちの中に差別意識が植え付けられている。関東大震災における虐殺の実態はどのようなものだったのか。なぜ、「朝鮮人が井戸に毒を入れた。」「放火をした。」などのデマが流されたのか。習志野では、一度軍に保護された朝鮮人が民間人に「払い下げられ」殺されたという。私たちはその後の歴史をどのように生きてきたのか。

日韓の歴史を未来につなげるために、私たちは隠された歴史と向かい合いたい。

日時 7月29日（金）から8月1日（月）

場所 茨城県潮来市あやめ

日程（案）

7月29日（金）	13:00	日本側参加者成田集合
	14:10	空と大地の歴史観見学
	16:30	ホテル着
	17:30	開会式
	18:00	夕食
	19:00	DVD「隠された爪痕 払い下げられた朝鮮人」上映
	21:00	国別ミーティング
7月30日（土）	8:30	フィールドワーク 習志野 朝鮮人虐殺関連遺跡 八千代 高津観音 馬込霊園 なぎの原 佐原 伊能忠敬博物館など
	17:00	ホテル着
7月31日（日）	9:00	全体会 授業報告
	12:00	昼食
	13:00	全体会 授業報告
	18:30	レセプション
	21:00	懇親会
8月1日（月）	9:00	全体会
	11:30	閉会式
	12:00	昼食
	14:30	ホテル発

日韓の教育・歴史・文化などに関心がある方はどなたでも参加できます。
ぜひご参加ください。

氏 名	(ふりがな) 性別 ()
住 所	〒 (-)
勤務先または職業	
電 話 番 号	☎ () 携帯電話 :
Eメールアドレス	
参 加 日 程 部分参加の場合、該当する部分にすべて○をつけてください。	<input type="checkbox"/> 全日程参加 <input type="checkbox"/> 部分参加 7/29(金) 「成田空港 空と大地の歴史館」見学 開会式 夕食 DVD鑑賞 宿泊 7/30(土) 朝食 フィールドワーク 夕食 宿泊 7/31(日) 朝食 授業報告(午前) 昼食 授業報告(午後) レセプション 宿泊 8/1(月) 朝食 全体会 閉会式 昼食
コ メ ン ト	(初参加の方は自己紹介をお願いします。また、質問があったらここに書いてください。)

※ 参加費 35,000円 + 年会費 3,000円です。

大学生参加費 25,000円、高校生参加費 24,000円、中学生参加費 22,000円
 部分参加は実費となります。お問い合わせください。

※ 必要事項を記入し、メールで返信してください。FAX でもかまいません。

e-mail : fleur@mx10.ttcn.ne.jp FAX : 042-375-0341

第1次申し込み締め切り 6月30日

(日韓合同授業研究会 事務局 佐藤)

今を未来へと繋ぐ、日韓の高校生たち

～第一回日韓討論会を通して～

ジュンヒ

〈初めに...〉

最近、ニュースを見ると、必ず出てくるのが日韓問題である。ヘイトスピーチ問題を先頭に、慰安婦問題、領土問題など多くの問題を日韓は抱えている。だがしかし、私たちはちゃんとした問題理解をしておらず、問題意識さえないのが現状だ。だからこそ、実際に当事者とも言える日本と韓国の学生が会って、国籍とは関係なく自分だけの客観的な観点で問題を理解してほしいと思い、この討論会を開くことにした。

〈討論会について〉

討論会の大きなテーマは「日韓問題への関心と理解、そして衝撃」である。日韓問題に関心を持ち、理解し、そして実際に両国の主張を聞くことによって、自分自身の固定観念を壊し、より客観的な自分だけの視点を構成するのが狙いだ。また、実際に同年代の高校生と会って話すことによって、問題意識を高めた。

討論会の議題は、3パートに分かれていて、歴史、政治、経済である。歴史は慰安婦問題、政治は竹島問題、そして経済は漁業協定問題等、非常に敏感で学校では話せないテーマを選抜した。気まずい雰囲気を作ってしまうのかと思うが、逆に敏感な問題を話し合える場所を作ることによって、日韓問題の深刻性を伝えると同時に、問題はあっても同じ人間であるということを強調したかった。

また、3つともポイントとして共通点を探させた。こうすることによって、日韓問題の関連性は深いものだということが自ら理解することが出来る。

〈討論会の内容〉

善元先生の基調講義で問題提示と基礎知識を把握した後に、チームごとに本題の討論へ移った。最初は多少しゃべりにくい雰囲気だったが、どんどん盛り上がっていき、表情が明るくなっていたのが印



象的だった。

各チームの報告内容を元に、討論会の内容を簡単に紹介しようと思う。

〈歴史パート〉

歴史パートの主題は「慰安婦問題」である。気まずいムードが漂うかと心配したが、やはり学生同士明るく討論していたのが印象的だった。

1. 発表内容

ソイさんがニュース記者に、清水さんとミンギュさんが韓国側と日本側の大臣になりきり、慰安婦合意文について、彼らを取材する形で合意文の内容を説明した。また、学校で歴史を学んでいる韓国人の学生と日本人の学生に、慰安婦についてインタビューするのを見せながら、両国が異なった歴史を学んでいることをあらわした。また、ゴウンさんが慰安婦被害者の国の名前を書いた画用紙を見せながらみんなにこの国々の共通点を尋ね、慰安婦問題が日韓の問題ではなく、世界の問題であることを強調した。最後に、須山さんが、コップを例として挙げ、認知と理解の差を説明しました。同じコップを「みる」というのは認知だがその中に何が入っているのかはそのコップを見るのだけでは分からない、コップの中身を見て「理解」という過程を踏む。従って、日韓間の理解が日韓の関係を改善させる近道であることをみせて、発表を終えた。

2. 感想

慰安婦問題はこれからの韓日関係における重要な課題だ。今回の交流会で私たちは慰安婦合意から始め教科書問題まで討論した。慰安婦合意については主に否定的な考えで、被害者中心の対応が取られなかったことに対する問題点を指摘した。また、教科書問題について話しながら教育の重要性を認識した。『知る』と『理解する』には明確な違いがあるためこれからも交流会を通して韓日関係について『知る』だけではなく『理解する』機会があったらいいと思う。

〈政治パート〉

一番討論参加者が多く、テーマも重いため会話が途切れるか心配したパートである。思いのほか、気まずい雰囲気も無く質のいい討論をしていたのが印象的だった。

1. 発表内容

日韓の政治に重点を置いた上で、現在の問題と今後問題を解決していく最適な手段で教育、つまり教科書の問題を中心に議論していった。私たちの世代が変えなければならない問題は何だろうか、今の世代の教育方法にどのような問題があるかについて議論した。まず、日本の学校の生徒に韓国の教科書を見せ、韓国の教科書にどれだけ日本に関連付けている内容が多いのか、そして多くをカバーしているのに対して語ってくれた。日本学生によると、日本は



問題を重要視するのに比べて、日本の教科書で扱っている内容があまりにも少ないという問題点が出てきた。議論の結果として、韓国は韓国の立場にも偏らないいくつかの立場から見る教育をさせること、日本も同じように、複数の視点を身につけることができるよう教育、そしてもっと詳しく詳細な内容を加えなければならないと結論が出てきた。

2. 感想

- ・日韓の関係は歴史と政治、経済を除くと問題がない。
- ・日本は韓国と比べて比較的日韓の歴史に関心がない。
- ・この問題を解決できればどの国よりもいい関係になれる。
- ・難しい内容で、お互い敏感な問題に関しての話し合いなので緊張したが、高校生だけでの交流会だったので話したいことを気軽に言えて、これまで気になっていた事も聞くことができた。疑問点も私たちに解決できて価値のある交流会になったと思う。交流会をきっかけとして、これからどんな考え方で生きていけばいいのか少し分かった気がする。



〈経済パート〉

一番客観的になり、経済的な視点で討論を進行しなければならず、高校生の私たちにとっては難しいパートだった。だが、リーダーのチョ君がリードしながら、うまく結論まで持っていったと思う。

1. 発表内容

他のチームよりも漁業協定に関するの情報量が圧倒的に少なく、まとめるとなった上で少し難しかった。

基本的な知識や情報が足りていない中で、日本側の意見としては紙1枚分の資料しかなく大変だった。だが、最大限の情報量をマインドマップにまとめることによって少し改善できたと思う。少し関係性の無い情報でもマインドマップでつなげることによって、他のテーマとの関係性を簡単に探すことができたと思う。

全体的な流れをあらわすには難しかったので、発表の際に年度別に書いて発表した。チームの準備時間も足りず知識も足りなかったので発表には難しさを感じたが、用語説明や他のチームとの関連性に重点をおくことによってうまく結論を皆さんに伝えることが出来たのかなと思う。マインドマップを使いまとめるのはうまかったのだが、発表の際の順番や方法に関しては足りなかった点があったので、改善して次回に取り組みたいと思う。

2. 感想

独島の海岸において発生している日韓の漁業問題について話した。話の中心は日韓が取り結んだ漁業協定は公正であるかだ。何度か協定があったがどちらかの国に不利益だったので破棄した。今は UN が加入した新たな協定が出来ましたが今度は韓国側に不利な一方的な協定だった。これについての解決策を考えてみた。そうするには日韓の歴史的関係と現在の関係について理解するべきだと思った。経済的な問題だったので最初は難しかったが、相互に話しながらお互いの立場を理解できて深く話ができたと感じた。

〈私の感想・反省点〉

初めての討論会で、準備が足りなかったところや、うまくいかなかった部分も多かったが、うまく終わることが出来てひとまず安心といったところだ。日韓の高校生が交流し話し合える場を作ることが出来て本当に良かった。しかし、討論会よりも交流会に近かった点や、連絡方法の不足、準備物不足、事前資料の手配が出来なかったところが反省点だと言える。次の討論会では、より質のいい討論をすべく、改善し、実行する予定だ。私の野望ではあるが、第3回までを予定しているこの討論会を高校生の学生団体、大きく学生の団体(NPOも夢じゃない?!)と組織化し、もっと深く「日韓関係への関心、理解、そして衝撃」というモットーを届けたいと思う。(現在計画中です。) そのためにも、多くの人に拡散し、次の討論会には少し規模を大きくして実行する予定だ。

〈最後に...〉

日韓関係は平行線の上にいる。多くの問題たちは完全な解決を遂げずに歴史の教科書へと書かれていく。私たちとは関係ないような日韓問題。果たして本当に関係がないかと言えば嘘になる。この問題を解決するのは、未来の私たちなのである。知らぬまま、また平行線のままにするのではなく、交わる点を今のうちに探すことによって、今後の私たちの関係は改善されるのではないか。

今を未来へ繋ぐためには、私たち高校生は何をすればいいのか。問題に関心を持ち、理解し、また衝撃を受ける。そして、アクションに移ることによって、日韓友好は現実的なものになるのではないだろうか。

短信

○6月3日「ヘイトスピーチ解消法」が施行され、川崎市ではヘイトスピーチを目的とする団体への公園使用不許可を決めました。ヘイト団体のデモによる道路使用を神奈川県警が認めたものの、市民の結集によりデモは開会直後に解散に追い込まれました。その中で在日の女性は、ヘイト団体主催者に、「加害、被害の関係から、今この時を共に生きる一人の人間同士として出合い直しませんか。」と書かれた手紙を手渡したそうです。

○「戦争法」可決以後初めての参院選挙を迎えます。結果によっては、いよいよ憲法が危機となります。人権抑圧と戦争が密接に結びついていることを、この夏、潮来大会で学びたいと思います。学生達の参加も予定されています。ぜひ、多くの方に参加していただければと願っています。(F)

ウリ 104 号 2016 年 6 月 22 日

日韓合同授業研究会

事務局連絡先

E-mail larrabee1991@yahoo.co.jp

会費納入先

振替口座が新しくなっています。ご確認の上、会費 3,000 円の振り込みをお願いします。

郵便振替口座番号

00120-9-265186